

商学部主催  
商学研究科共催

# 学術講演会

演題

## 郵便業務理事会の議長席から

講師：目時 政彦 氏

(日本郵便株式会社本社執行役員(国際事業部担当)、  
万国郵便連合(UPU)郵便業務理事会議長)

日時：2018年6月15日(金) 3限(13:30~15:00)

会場：B号館 203号教室

主催：関西学院大学商学部

共催：関西学院大学商学研究科



### 講演要旨

目時政彦氏は、郵政省、総務省、日本郵便公社で郵便貯金事業に携わった後、現在は、日本郵便株式会社の執行役員を務めると同時に、国際連合の専門機関の一つである「万国郵便連合(Universal Postal Union; UPU) (スイス・ベルン)」において、40カ国から構成される「郵便業務理事会(Postal Operations Council)」の議長を務めている。

本講演では、わが国における郵便貯金の役割や郵政民営化の経緯と現状について概観した後、目時氏の現職である国連機関における議長という仕事のありのままの姿を伝える。そのことによって、多種多様な国際機関の業務の一端に触れることができるであろうし、さらには国際機関で働くことの意味なり意義なりを深く考える契機ともなるであろう。

講師自身の言葉を借りれば、「もともと国際活動には縁遠い」ところにあった目時氏が、どのような経緯で「国際社会で活躍する日本人」(外務省『外交青書』(2017))の三名のうちの一人として紹介されるに至ったのか、同氏の学生時代から現在に至るまでの経歴や経験、あるいはその過程の中での「国際」との関わりなどについて語る。

商学部において国際金融や国際物流の領域を中心にビジネスを学ぶ学生諸君にとって、「国際」という言葉の意味と現実を身近に知るよい機会となるであろう。また「Mastery for Service」を体現する世界市民の育成をミッションとし、その一環として国連・国際機関職員や外交官などの養成・輩出をも目指す本学のすべての学生諸君にとっても貴重な機会となるであろう。

### 講師紹介

1983年、東京大学文学部卒。同年、郵政省に入省。主に貯金局において国際業務を担当。その間、外務省経済協力局、在タイ日本大使館に出向。97年、郵政省国際業務室長。2000年、総務省経営調査室長(貯金担当)、04年、日本郵便公社郵便貯金事業本部企画部長、06年、内閣官房郵政民営化推進室参事官。11年、日本郵便株式会社国際事業本部国際事業部長。12年、万国郵便連合(UPU)郵便業務理事会議長(現職、2期目)。14年、日本郵便株式会社執行役員(現職)。金融業務の国際化、国際物流業務、そして国際機関での業務に精通している。